



挑戦と
創造の
あかし

TEAM NEXT YONEZAWA



吾妻屋旅館
公式ページ

新高湯温泉 五つの絶景露天風呂 吾妻屋旅館（大字関）
ご主人の肌つやが良い
この秘湯、きつと効く



▲吾妻屋旅館の
取り組みはこちら

新高湯温泉 吾妻屋旅館6代目の安部直人さん。写真は、5月中旬～10月下旬まで限定オープン^{あべなほと}の滝見露天風呂。
※ ①宿泊客にゆっくり寛いでもらうため ②毎日数時間かけて湯を総入れ替えするため、日帰り入浴は全館不可です。

天元台ロープウェイの横、吾妻の昇龍坂と命名された急坂を登ると、微かな硫黄の香りと共に秘湯が姿を現します。最上川源流の一つ「白金の滝」の真横、標高1126mにたたずむ温泉宿「吾妻屋旅館」。開湯は1902年。舗装道路がない時代から、山道を切り拓き多くの湯治客が足を運んできました。源泉は宿からわずか150m先、毎分170ℓが自然湧出しています。年間を通して約50℃に安定した源泉は、宿の浴槽に注がれるころには入浴に適した温度になるため、無加温無加水の源泉100%かけ流し。泉質はpH7.0の中性で肌への刺激が少なく、利用者からは日焼けや外傷、痔などの軽い皮膚トラブルに効くとの声が多いそうです。美味しいと驚かれる宿の水は、西吾妻地藏倉水源の湧き水。温泉も水も、源泉・源流「一番搾り」が自慢です。宿泊客の目当てはもちろん温泉ですが、標高の高い秘湯ならではの楽しみが星見風呂。宇宙にグッと近づいた、宿の明かり以外に人工光がない暗闇の中で見上げれば、銀砂をまいたような星空が広がります。

宿の評判は全国区。駐車場には日本各地のナンバーが見られました。「米沢は何もない」との言葉を市民の皆様からよく耳にします。でも、県外からは米沢の魅力にひかれてたくさんの方がいらっやいます。何もないのではなく、何があるか知らないだけではないでしょうか。人里離れ湯守人をつとめる安部さんが言う^{あべなほと}と説得力が違います。

取材当日は猛暑日でしたが、山の上は涼しく過ごしやすい気候で、冷房いらずでした。夏の終わりに、酷暑で疲弊した体を温泉で癒してみたいかがでしょうか。

「米沢市役所 TEAM NEXT YONEZAWA」の取り組み

米沢市役所が取り組む米沢品質向上運動の具体的な取り組みとして、市役所への満足度調査「市役所あるあるアンケート」を募集しています。右の二次元コードから米沢市役所 TNY のページに進めますので、そちらのコメント欄に米沢市役所を利用されてお気づきの点などをご記入ください。

関係各課で情報を共有し、より良い市役所を目指してまいります（原則としてコメントへの返信は行いませんのでご了承ください）。



TEAM NEXT
YONEZAWA

